

毎週日曜発行 2017 8/6

こども新聞 週刊がほピョンプリンス

河北新報社 TEL.022-211-1111(月曜から金曜)



きょうの紙面

2 サイエンス

3 3分チャレンジ

4・5 いいね

小学校

6 英語

7 かほくワークシート

8 中学生の相聞歌



活発で陽気な活平くんと妹の麻子ちゃん

ゆるキャラです

① ハ〜イ

全国でゆるキャラが人気だよね。宮城のゆるキャラは、かほピョンのライバルだから、いろいろ調べてみたんだ。きょうは色麻町の「活平くん」を紹介するよ。

色麻町は、宮城県の真ん中にある農業が盛んな地域。古くから河童伝説があり、町のいろいろな場所にかっぱの石像などが置かれています。町内にある磯良神社は「おか

色麻町のかっぱ伝説を紹介します。お姫さまに恋をしたかっぱが、毎晩



活平くん

(色麻町)

「お屋敷に生きた魚やキュウリを届けたところ、嫌がらせだと勘違いされ、若侍に腕を切り落とされてしまいました。かっぱは「腕を返してくれたら、もうお姫さまに近寄りません」と若侍に頼み、返してもらった腕を河童膏という薬でくっつけました。腕と引き換えに河童膏をもらった

30年以上前から町を応援

若侍は、戦で傷を負ってもすぐに治るため、たくさん手柄を立てることができました。



そんなかっぱ伝説から、ゆるキャラの活平くんが生まれたのは、今から30年以上も前の1987年のこと。ゆるキャラがブームになるずっとずっと前から、町のマスコットとして活躍しています。名前は町の人たちがつけたそうで、「活力」と「平和」を意味する活平くんとなったのだとか。

大好物はキュウリで、お相撲が得意。おしゃべりはしませんが、活発で陽気な性格で、いろいろなイベントに出ています。ときおり連れてくる、妹の麻子ちゃんも人気者です。

◇ きょう6日は、「第31回色麻町かっぱのふるさと祭り」に出演するそうだよ。気になる人は、遊びに行ってみてはどうか？

活平くん 1987年、色麻町のかっぱ伝説をもとに誕生。名前は、町民の公募で選ばれた。身長やポーズは、その時々で変化する。

今週の注目ニュース

◇8日(火) 部分月食(全国)
日本で「月のかくれんぼ」が見られるのは2年ぶりだよ。未明から明け方にかけて、南西の空で最大4分の1ほどが欠けるんだ。2時20分すぎに欠け始め、最大は3時20分ごろ。4時20分ごろ元に戻るよ。

◇10日(木) 東武鉄道鬼怒川線で蒸気機関車(SL)が運行開始(栃木県・下今市-鬼怒川温泉間)
SLはJR北海道からかしてもらうなど、全国の鉄道会社の協力で、東武鉄道では約50年ぶりに復活するんだ。観光の目玉として期待されているよ。